

試合番号 : 344	試合会場 : 西尾市総合体育館	観客数 : 710
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:08	試合時間 : 02:08
主審 : 原 啓之	副審 : 北村 友香	
<b>デンソーエアリービーズ</b> 通算 5勝 3敗 ポイント : 17	29 第1セット 27 18 第2セット 25 26 第3セット 24 25 第4セット 18 第5セット	<b>ヴィクトリーナ姫路</b> 通算 1勝 6敗 ポイント : 3
<b>3</b> 昨日に引き続き、たくさんの方にご来場いただき、熱い声援を送っていただきありがとうございます。相手が強いきチームというは分かっていたので、粘り勝ちとう試合に臨みました。長いラリーが多くありましたが、アタックとブロックで得点に繋げられました。粘り勝ちで今日の試合を勢いにかけて、来週も頑張ります。	<b>1</b> 素晴らしい環境の中で試合ができたことに感謝いたします。また多くの皆様にご来場いただきありがとうございます。ここまで試合で、終盤の競り合いを制することができない場面が多かったため、今週に向けてその部分を重点的に練習してきました。接戦となった第1、第3セットを自分達のミスから落とすことが敗因です。負けが込んでくると全てにおいてネガティブになりがちですが、良い面も確実に出ています。まずはしっかり練習を積んで、とにかく勝つことが1番の自信につながると思うので、来週はホームゲームで勝利を掴みたいと思います。	
<b>要約レポート</b> デンソーエアリービーズとヴィクトリーナ姫路の一戦は、デンソーが粘り勝ちした。第1セット、序盤はデンソー工藤と姫路・松本の打ち合いで得点を重ねていき、その後は終盤まで両チーム合わせて3連続得点以上の場面が9回もある流れが偏った展開となる。デュースの末に鍋谷のブロックが決まり、デンソーがこのセットを奪う。第2セット、序盤から姫路が田中、松本、貞包を中心に得点を重ね、優位に試合を進める。追いつきたいデンソーは二枚替えなどで流れを掴もうとするが、序盤の点差を埋めることができず、このセットは姫路が奪い返す。第3セット、スタートから姫路が4-1と抜け出したが、その後は3点差以上がつかない締まった展開となる。終盤までもつれたこのセットは、デュースの末に横田のブロックが決まり、デンソーがセットを奪う。第4セット、デンソーが序盤から3連続得点を2回重ね、この試合最大の9得点差をつける。そのまま危なげなく試合を進め、最後は奥村のブロックが決まり、この試合に勝利した。デンソーは姫路のサイド攻撃に苦しみ、自分達のリズムで試合を進めることができずしたが、第3セット以降はブロックとレシーブの関係が良く、徐々にリズムが良くなり流れを掴んでいった。敗れた姫路も田中、松本、貞包の3名がどんな場面でも腕をしっかり振り、力強くキレのあるスパイクを決めたが、一歩及ばなかった。		

試合番号 : 345	試合会場 : 大田区総合体育館	観客数 : 1,437
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:29	試合時間 : 01:29
主審 : 津嶋 由香	副審 : 明井 寿枝	
<b>NECレッドロケッツ</b> 通算 7勝 2敗 ポイント : 21	25 第1セット 16 25 第2セット 21 25 第3セット 14 第4セット 第5セット	<b>日立リヴァーレ</b> 通算 2勝 6敗 ポイント : 5
<b>3</b> 昨日の敗戦からどう立ち直っていくのかということがテーマでした。昨日の悔しさをコートでしか晴らすことはできないと選手に伝え、自分達の強み、やるべきことを再確認し、最後まで気を緩めることなく戦い続けることができました。まだまだ試合は続きますが、今日の一戦を忘れずに戦っていききたいと思います。2日間、たくさんの方にホームゲームにお越しいただき大変嬉しく思います。私達にとってホームゲームが特別なものであると改めて感じました。本日も応援ありがとうございます。来週もよろしくお祈りします。	<b>0</b> 昨日の反省を活かし、サーブレシーブの確認やコンビレアーの機能は良かったと思いますが、課題としていたサイドからの攻撃に対しブロックが機能せず、食い止め切れなかったことで上手にリズムをつかめませんでした。今週は2敗となり悔しいですが、まだまだこれから試合は続きますので、前向きな姿勢で次のデンソー戦に備えたいと思います。NECの盛大な応援に負けじと、温かいエールを送り続けて下さった方々、本日もありがとうございます。	
<b>要約レポート</b> ホームゲームでファンへの期待に応えたい現在2位のNECレッドロケッツと、開幕2連勝以来の勝利を手にした現在9位の日立リヴァーレの対戦。第1セット、日立トップかNECネリマンのスパイクに対して、しぶとくワンタッチをとりプレッシャーをかけ続け、簡単には決めさせない。ワンタッチを見出したいNECはセッター澤田を投入し、ミドルブロック一島村、山田の攻撃を繰り交ぜ、速いボールの攻撃に組み立て直す。これがヒタリとはまり、日立のディフェンスを切り崩した。第2セット、日立はルーキーのセッター雑賀が窪田の機動力を活かした攻撃を軸に攻める。対するNECは第1セットから好調の古賀がレフトやバックから縦横無尽にスパイクを決める。一進一退の攻防が続く。点差が離れないまま終盤へ。抜け出したのはNECだった。それまで日立に抑え込まれていたネリマンが、サーブ、スパイクで得点を重ね、NECがセットを連取した。第3セット、NECは的を絞ったサーブを徹底し、崩れた所をブロックする理想的な展開。苦しい展開の中でも日立はトップ、入澤を中央から使い、サイドのスパイクカーが活躍するように攻撃する。しかし、尻上がりに調子を上げるNECネリマンの勢いを止められず、最後は途中出場の大瀬がブロックを決めてゲームセット。NECは満員のファンが詰めかけるホームゲームで見事な勝利を飾った。		

試合番号 : 346	試合会場 : 黒部市総合体育センター	観客数 : 1,350
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:55	試合時間 : 01:55
主審 : 増岡 三佳子	副審 : 服部 篤史	
<b>KUROBEアクアフェアリーズ</b> 通算 2勝 5敗 ポイント : 4	25 第1セット 17 14 第2セット 25 20 第3セット 25 17 第4セット 25 第5セット	<b>Jマーヴェラス</b> 通算 7勝 1敗 ポイント : 20
<b>1</b> ホームゲーム2戦目、連勝を目指し、王者Jマーヴェラスに臨みました。第1セットはリズム良く攻撃を展開することができましたが、第2セット以降はこちらのパターンを完全に読まれてしまい、勢いがストップしてしまいました。今日のゲームの反省点を修正し、次週以降に向けた準備をしたいと思います。今後ともご声援よろしくお願いいたします。	<b>3</b> KUROBEのホームゲーム、決定力のある相手エースにゲームのリズムを作られ、粘り強いディフェンスで完全にペースを掴まれました。第2セットからサーブとオフェンスの精度が上がり、自分達がリードする場面が増え、メンバーチェンジした個々の選手の活躍により、3-1で勝利することができました。今週は1試合のみでしたが、応援ありがとうございます。来週も北陸での大会となります。ベストコンディションで良い準備をし、全力で戦っていきます。	
<b>要約レポート</b> KUROBEアクアフェアリーズのホームゲーム2日目。前日、格上の久光スプリングスをフルセットで破ってのホーム初勝利に地元は大いに盛り上がり、今日も会場には大勢の地元ファンが駆け付けた。対するJマーヴェラスは現在6勝1敗の3位で、優勝のためには取りこぼしは許されないところ。第1セット、KUROBEが5-8の場面から細沼のスパイク得点にJTのミスが重なり4連続得点で逆転すると、さらに舛田、リーのスパイクで3連続得点し12-9とリードする。その後もリベロ立石の好レシーブから、舛田がスパイクを決める形でリードを広げ、KUROBEがセットを先取した。第2セット、JTはセッター柴田に代え流れを変える。JTは2-5の場面からドルーズ、林のスパイクで5連続得点すると流れを掴み、その後も林が5連続でスパイクを決めるなど13-7とリードを広げる。最後もJTが7連続得点してセットを取り返した。第3セット、序盤の一進一退の展開から、KUROBEは間橋の連続スパイク得点で16-13と抜け出す。しかし、JTは17-19から橋井のサービスエースや田中、ドルーズのスパイクなどで7連続得点し、一気にKUROBEを突き放しセットを連取した。第4セット、序盤からJTはドルーズ、林を中心に得点を重ね17-8と一方的な展開となる。KUROBEもリー、舛田のスパイクで応戦するがリードは埋まらず、JTがこのセットも取り勝利した。		

試合番号 : 347	試合会場 : 黒部市総合体育センター	観客数 : 1,500
開始時間 : 14:35	終了時間 : 16:21	試合時間 : 01:46
主審 : 浅井 唯由	副審 : 内藤 聡美	
<b>久光スプリングス</b> 通算 5勝 4敗 ポイント : 16	25 第1セット 19 18 第2セット 25 25 第3セット 15 25 第4セット 11 第5セット	<b>PFUブルーキャッツ</b> 通算 0勝 7敗 ポイント : 1
<b>3</b> 昨日の敗戦から各自しっかりと切り換え、試合への入り方、序盤の戦い方を意識して臨んだ。序盤から我々のリズムで展開することができたが、第2セットに入り、細かなミスが重なりセットを落とすことになった。その中で選手同士でコミュニケーションを取り、改善したことが勝因となった。チームとしては発展途上であるが、勝ちにこだわり1つ1つ積み重ねていくことが必要である。次戦に向けてチーム力を高めるよう準備していきたい。本日もたくさんのご声援ありがとうございます。	<b>1</b> 昨日に続きセットを奪うところまではいったが、勝利に結びつけることができなかった。更に変化して成長し、次週のホームゲームを迎えたい。本日も応援、ありがとうございます。	
<b>要約レポート</b> 前日、痛い負けを喫し順位を下げた久光スプリングスと、善戦するも未だ勝利を挙げられていないPFUブルーキャッツとの対戦。第1セット、序盤、久光がアキラデウオ、中川のスパイクなどで8-5とリード流れを掴んだかに見えたが、PFUも堀口、アコスタのスパイクで9-9と追いつき流れを渡さない。接戦が進む中、久光が21-19からPFUのミスと、井上(愛)のスパイクで4連続得点しセットを先取した。第2セット、PFUが10-12から高相、堀口のスパイクで4連続得点で逆転し、この試合初めて久光がPFUを追いかけける展開となる。PFUが19-16から村上のスパイク得点と久光のミスで得点し、4連続得点で久光を突き放しセットを取り返した。第3セット、久光が6-5から中川、石井などのスパイクで5連続得点し流れを掴むと、その後PFUに連続得点を一度許したが、着実に得点を重ねセットを取った。第4セット、立ち上がり久光がアキラデウオのスパイク、サービスエースなどで一気に流れを掴む。その後も久光は石井、井上(愛)などが得点しリードを広げ、終盤19-10から5連続得点するなど、久光がこのセットを一方的に取り勝利した。		